

平成20年度 編入学生募集要項

編入学案内
出願書類添付

出 願 期 間 平成19年7月30日(月)から8月2日(木)

学力検査および面接 平成19年8月29日(水)

合 格 者 発 表 平成19年9月4日(火)

国立鈴鹿工業高等専門学校

ホームページ [http:// www.suzuka-ct. ac. jp](http://www.suzuka-ct.ac.jp)

電話番号 059-368-1739

FAX番号 059-368-1738

平成20年度編入学生募集要項

編入学案内

1. 鈴鹿高専ができた背景と歴史

昭和37年(1962年)4月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の5年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校(略称「高専」)です。

鈴鹿高専は全国で12ある一期校の一つとして設立され、機械工学科、電気工学科(現電気電子工学科)、工業化学科(現生物応用化学科)の3学科体制で出発しました。その後金属工学科(現材料工学科)と電子情報工学科が増設され、これまでに6,300人以上の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成5年には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科5年間の教育課程を卒業後さらに2年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成16年4月には工学教育の新地平をめざして、これまでの文部科学省から新しく設立された独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する高専として組織変更がなされています。また、平成17年9月には設置基準が改定され、4、5年生においては国際基準にほぼ合致する大学単位制を導入することができるようになりました。

2. アドミッション・ポリシー(編入学者受入方針)

(1) 教育理念

21世紀を迎えた今、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では次のような教育理念を定めて意欲ある創造的な技術者の育成に努めています。

- ① 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- ② 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- ③ 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- ④ 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

(2) 求められる編入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上を目指して継続的に自己学習ができる人
- ・豊かな想像力と行動力をもった人
- ・論理的に物事を考えることができる人
- ・英語学習に情熱をもち、国際社会で活躍してみたい人の入学を歓迎します。

(3) J A B E E (日本技術者教育認定機構) 認定教育プログラムの推進

本校では教育内容の継続的な改善・向上をめざして、国際水準を満足する技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」を構築し、平成15年度からJ A B E E (日本技術者教育認定機構)の正式認定校となりました。編入学生は入学と同時にこのプログラムの履修生となります。

専攻科へ入学しJ A B E Eプログラムを修了した場合には技術士の一次試験が免除されます。

3. 修業年限および学科卒業生の称号

(1) 修業年限

本校の修業年限は5年ですが、編入学生は第4学年から学習しますので2年間です。

(2) 学科卒業生の称号

5学年卒業者には「準学士(工学)」の称号が授与されます。

※ なお、卒業後専攻科に入学し、大学評価・学位授与機構の審査に合格すれば「学士(工学)」の学位が授与されます。

4. 学科紹介

機械工学科

半導体の製造から大規模プラント建設に至るまで、生産を伴う工業は機械工学の関連なしには成り立ちません。今日、生産の省力化、自動化、高能率化のために、機械の多くにはエレクトロニクスによる制御が組み入れられ、従来からの設計や製造技術などに関するもののほか、情報やエレクトロニクスの知識も不可欠となってきました。機械工学科では、機械工学の基礎理論とその応用に重点を置きながら、種々の工学の基礎について学びます。実験・実習については、従来の機械工学的なものに加え、メカトロニクス、CAD/CAMなどコンピュータ応用技術に関するものも勉強します。

電気電子工学科

今日、電気はエネルギー源としてだけではなく、情報の伝達や自動制御の手段として必須のものになっています。電気電子工学科では、あらゆる分野の産業において進展する複合化や高度化した情報社会に対応することを目的として、まず電気電子に関する基礎知識について幅広く学習します。そしてさらに制御工学、エレクトロニクス、通信工学などの様々な応用分野についても学習を深めます。また、実践力を養うために電気電子工学実験を重視しています。

電子情報工学科

コンピュータはマイクロ化されて携帯電話やDVDプレーヤーなどの情報機器にも組み込まれ、ネットワーク技術とともに現代社会に欠かせません。これらに必要なハードウェアの理論と技術、ソフトウェアの理論と技術をとともに学びます。具体的には、専門基礎である電磁気、電気回路、電子工学、デジタル回路、情報理論、ソフトウェア

工学、計算機ハードウェア、制御工学、情報通信ネットワークなどを重点的に学びますが、更に応用力、実践力を身につけるため創造工学、電子情報工学実験、プログラミング演習なども受けることになります。

生物応用化学科

生物応用化学科は2コース制で、工業化学の基礎を十分に理解し、情報・新素材・環境等に精通した素材・生産・環境保護に対応できる総合力を有する実践技術者を養成する「応用化学コース」と、化学に基礎を置いた生物工学に精通し、今後の新しいバイオテクノロジーに対応でき、情報・環境等に精通した生物工学的生産や環境保護に対応できる総合力を有する実践技術者を養成する「生物化学コース」があります。

コース制に伴う少人数のきめ細かい教育を施すことにより、素材・生産・環境を総合的に捉えられる創造性豊かな応用化学系実践技術者と生物化学系実践技術者の養成を行っています。

材料工学科

革新的な機能を有する新素材が航空宇宙産業、IT技術などの目覚ましい発展を支えています。特に近年では、地球規模での環境、エネルギー問題を解決するために環境や人に優しい新素材の開発が望まれています。

材料工学科では、金属材料、セラミックス材料、高分子材料などについて基礎知識だけでなく、それらの複合材料や新しい機能を有する新素材についての基礎専門知識も学習します。また、工学実験を通してさまざまな要求に応えることのできる創造力、応用力、実践力を身につけることができます。さらに、機械工学、電子工学、情報処理、設計製図などの基礎知識についても学習し、材料だけでなく他分野の研究者、技術者と連携することのできる幅広い知識を有する材料系実践技術者を養成しています。

5. 編入学後の教育

(1) 教育課程

本校の教育課程は、別表1（一般科目）、別表2（専門科目）のとおりです。編入学生は第4学年以降の科目を履修します。

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育に力を入れており、4、5学年では全員にTOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC I Pテストを含む。）受験を義務づけています。

(2) 学習指導について

編入学合格者に対して、入学前に予備学習のための支援を行います。（編入学の前年度の12月中旬及び3月下旬に、編入学する学科の基礎的な専門科目について担当教員から教科書等を用いて学習支援を行います。）また、入学後必要に応じて補講等の学習指導やチューターによる学習支援を行います。

(3) 第4学年編入学時の単位認定について

編入学生には、本校学生が1～3学年で修得すべき単位数と同一の単位数を一括認定します。

別表 1

一般科目(全学科)

M(機械工学科) E(電気電子工学科) I(電子情報工学科) C(生物応用化学科) S(材料工学科)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語 I A	2	2					
	国語 I B	2	2					
	国語 II	2		2				
	日本文学	2			2			
	世界史	2	2					
	政治・経済	1		1				
	倫理・社会	2		2				
	基礎数学 I	2	2					
	基礎数学 II	2	2					
	基礎数学 III	2	2					
	線形代数	2		2				
	微分積分 I	4		4				
	微分積分 II	3			3			
	微分積分 III	2			2			
	物理	5	2	3				
	化学	4	MEIS2 C3	MEIS2 C1				
	生物	2		2				
	英語 I A	4	4					
	英語 I B	2	2					
	英語 II A	2		2				
英語 II B	3		3					
英語 III	2			2				
英語特講	1			1			後期実施	
英語 V	2					2		
総合基礎数学	1			1			後期実施	
総合基礎物理	1			1				
総合基礎英語	1			1			前期実施	
保健体育(武道を含む)	10	4	2	2	2			
小計	70	MEIS26 C27	MEIS25 C24	15	2	2		
選択必修科目	言語表現学 I	1				1		同時開講
	歴史学概論 I	1				1		前期実施
	技術者倫理入門 I	1				1		左記 4 単位の中から 1 単位以上修得
	法学 I	1				1		
	言語表現学 II	1				1		同時開講
	歴史学概論 II	1				1		後期実施
	技術者倫理入門 II	1				1		左記 4 単位の中から 1 単位以上修得
	法学 II	1				1		
	環境科学論	1				1		同時開講
	地球科学	1				1		前期実施
	物理学特講	1				1		左記 4 単位の中から 1 単位以上修得
	分子生物学概論	1				1		
	環境科学論	1				1		同時開講
	地球科学	1				1		後期実施
化学特講	1				1		左記 4 単位の中から 1 単位以上修得	
分子生物学概論	1				1			
英語 IV A	2				2		同時開講 左記 4 単位の中から 2 単位以上修得	
英語 IV B	2				2			
小計	6				6			
選択科目	地理	2	2					
	美術	2	2					
	音楽	2	2					同時開講
	書道	2	2					
	世界史	1		1				
	文学概論 I	1				1		同時開講
	心理学 I	1				1		前期実施
	経済学 I	1				1		
	哲学 I	1				1		
	文学概論 II	1				1		同時開講
	心理学 II	1				1		後期実施
	経済学 II	1				1		
	哲学 II	1				1		
	数学特講 I	1				1		前期実施
	数学特講 II	1				1		後期実施
	実用英語 I	1					1	同時開講
	欧米文化論 I	1					1	前期実施
中国語 I	1					1		
実用英語 II	1					1	同時開講	
欧米文化論 II	1					1	後期実施	
中国語 II	1					1		
小計	11	4	1		4	2		
一般科目開設単位数	87	MEIS30 C31	MEIS26 C25	15	12	4		
一般科目総開設単位数	115	MEIS34 C35	MEIS26 C25	15	32	8		

別表2

専門科目 (機械工学科)

区分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応 用 数 学 I	3			1	2		
	応 用 数 学 II	1					1	
	応 用 物 理 I	2			2			
	応 用 物 理 II	2				2		
	機 械 工 学 序 論	1	1					
	機 械 工 作 法	2		2				
	機 械 工 作 実 習	5	2	3				
	総 合 実 習	4			4			
	創 造 工 学	2				2		
	機 械 工 学 演 習	2				2		
	情 報 処 理	3	1	2				
	計 算 機 援 用 工 学	1					1	
	メカトロニクス	2			2			
	材 料 力 学 I	2			2			
	熱・流体工学基礎	1			1			
	熱 力 学	2				2		
	水 力 学	2				2		
	機 械 運 動 学	2			2			
	機 械 設 計 法	2				2		
	機 械 力 学	2				2		
材 料 学 I	1				1			
材 料 学 II	1					1		
機 械 設 計 製 図	12	1	2	3	3	3		
工 学 実 験	6				2	4		
卒 業 研 究	9					9		
小 計	72	5	9	17	22	19		
選択必修科目	材 料 力 学 II	2				2	2単位以上修得	
	熱 工 学	2				2		
	流 体 工 学	2				2		
	精 密 加 工 学 I	1				1	1単位以上修得	
	精 密 加 工 学 II	1				1		
	生 産 シ ス テ ム	1				1		
	塑 性 加 工 学	1				1	1単位以上修得	
	制 御 工 学	1				1		
電 子 回 路	1				1			
ロ ボ ッ ト 工 学	1				1			
小 計	13				2	11		
選択科目	機 械 加 工 学	1			1			
	情 報 処 理 応 用	1			1			
	電 気 工 学 概 論	1			1			
	工 業 英 語	1				1		
	機 械 計 測 評 価 学	1				1		
	弾 性 学	1				1		
	創 造 工 学 演 習	5	1	1	1	1		1
	イ ン タ ー ナ シ ッ プ	2				1		1
小 計	13	1	1	4	2	5		
専門科目開設単位数	98	6	10	21	26	35		
一般科目開設単位数	87	30	26	15	12	4		
開設単位数合計	185	36	36	36	38	39		
修 得 単 位 数	167 以上	132以上						
		167以上(専門科目82以上)						

専門科目（電気電子工学科）

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	2				2		
	応用数学Ⅱ	2					2	
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	電気電子工学序論	1	1					
	電気電子製図	2	2					
	情報処理	3	2	1				
	電気磁気学	4			2	2		
	電気回路	6		2	2	2		
	電気電子計測	2			2			
	電子回路	2			2			
	デジタル回路	2				2		
	電子物性基礎	2			2			
	電気電子材料	2				1	1	
	半導体工学	1				1		
	計算機システム	2					2	
	電子制御基礎	1			1			
	制御システム	2				2		
	電気機器	3			1	2		
	電力システム工学	2					2	
通信理論	2					2		
創造工学	2				2			
電気電子工学演習	3		2	1				
電気電子工学実験	13		4	3	3	3		
卒業研究	9					9		
小計	74	5	9	18	21	21		
選択必修科目	高電圧工学	2					2	3単位以上修得
	パワーエレクトロニクス	1					1	
	情報通信工学	2					2	
	応用情報処理	1					1	
	小計	6	0	0	0	0	6	
選択科目	機械工学概論	2			2			
	電気エネルギー応用	2					2	
	電気電子応用	1				1		
	電磁波工学	1					1	
	電気法規	1					1	
	発変電工学	1					1	
	電子デバイス工学	1				1		
	電気電子工学演習	2				2		
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	2				1	1	
小計	18	1	1	3	6	7		
専門科目開設単位数	98	6	10	21	27	34		
一般科目開設単位数	87	30	26	15	12	4		
開設単位数合計	185	36	36	36	39	38		
修得単位数	167以上	132以上						
		167以上(専門82以上)						

専門科目（電子情報工学科）

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電子情報工学序論	1	1					
	プログラミング基礎	1	1					
	マイクロコンピュータ基礎	1		1				
	電気電子基礎	2		2				
	プログラム設計	2		2				
	応用物理Ⅰ	2			2			
	デジタル回路	2			2			
	オペレーティングシステム	2			2			
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	電子機器学	1			1			
	電子工学	2			2			
	電気磁気学	4			2	2		
	電気回路論	4			2	2		
	電子回路	3			1	2		
	応用数学Ⅰ	2				2		
	ソフトウェア工学	2				2		
	計算機アーキテクチャ	2				2		
	情報通信ネットワーク	2				2		
	基礎制御工学	2				2		
	創造工学	2				2		
情報理論Ⅰ	1				1			
電子材料工学	2					2		
電子情報工学実験	15	3	4	4	4			
卒業研究	10					10		
小計	69	5	9	20	23	12		
選択必修科目	情報理論Ⅱ	1					1	3単位以上修得
	計算機工学	2					2	
	情報数学	2					2	
	電子計測	2					2	3単位以上修得
	光電子工学	2					2	
	集積回路工学	1					1	
小計	10					10		
選択科目	応用物理Ⅱ	2				2		
	数値解析	1					1	
	応用数学Ⅱ	2					2	
	情報伝送工学	2					2	
	画像処理工学	2					2	
	人工知能	2					2	
	電子制御工学	2					2	
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	2				1	1	
小計	20	1	1	1	4	13		
専門科目開設単位数	99	6	10	21	27	35		
一般科目開設単位数	87	30	26	15	12	4		
開設単位数合計	186	36	36	36	39	39		
修得単位数	167以上	132単位以上						
		167以上(専門科目82以上)						

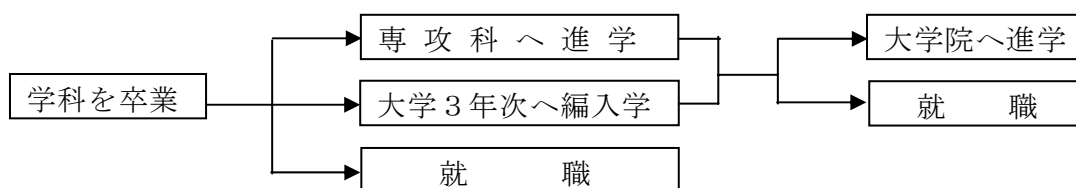
専門科目 (生物応用化学科)

区分	授業科目	単 位	学 年 別 配 当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必 修 科 目	応用数学Ⅰ	2				2			
	応用物理Ⅰ	2			2				
	応用物理Ⅱ	2				2			
	基礎情報処理	1	1						
	情報処理	2		2					
	情報処理応用	2				2			
	生物応用化学序論	1	1						
	無機化学	3			2	1			
	有機化学	4		2	2				
	物理化学Ⅰ	3			2	1			
	物理化学Ⅱ	2				2			
	分析化学	2		2					
	機器分析化学	2			2				
	生物化学	2			2				
	微生物学Ⅰ	1			1				
	細胞生物学	1			1				
	化学工学Ⅰ	2			1	1			
	創造工学	2				2			
	有機工業化学	2					2		
	化学設計製図	2					2		
生物応用化学実験	14	2	4	4	4				
卒業研究	10					10			
小計	64	4	10	19	17	14			
応用化学 コース	必修科目 コース	高分子化学	2			2			
		反応工学	2			2			
	化学工学Ⅱ	2			1	1			
	応用化学コース実験	3				3			
	小計	9	0	0	0	5	4		
コース 選択	必修科目	精密合成化学	2			2			
		無機工業化学	2				2		
		理論有機化学	2				2		
		機能材料工学	1				1		
		小計	7	0	0	0	2	5	4単位以上修得
生物化学 コース	必修科目 コース	微生物学Ⅱ	2			2			
		生物反応工学	2			2			
		生物化学工学	2			1	1		
		生物化学コース実験	3				3		
		小計	9	0	0	0	5	4	
	コース 選択	必修科目	分子生物学	2			2		
			タンパク質化学	2				2	
			生物情報工学	2				2	
			遺伝子工学	1				1	
			小計	7	0	0	0	2	5
共通 選択 科目	応用数学Ⅱ	1				1			
	工業英語	1			1				
	環境分析化学	1				1			
	触媒化学	1					1		
	工業物理化学	2					2		
	化学工学Ⅲ	2					2		
	生物機能工学	2					2		
	環境工学	2					2		
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1		
	インターンシップ	2				1	1		
小計	19	1	1	2	3	12			
専門科目開設単位数	99	5	11	21	27	35			
一般科目開設単位数	87	31	25	15	12	4			
開設単位数合計	186	36	36	36	39	39			
修得単位数	167以上	132以上 計167以上(専門科目82以上を含む。)							

専門科目 (材料工学科)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	応用数学Ⅰ	2				2		
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	情報処理Ⅰ	1	1					
	情報処理Ⅱ	2		2				
	情報処理Ⅲ	1			1			
	機械工作法	1	1					
	材料工学序論	1	1					
	基礎材料学	2		2				
	材料組織学	2			2			
	材料強度学	2			2			
	材料熱力学	2			2			
	無機化学	1			1			
	無機材料	2				2		
	有機化学	2			2			
	有機材料	2				2		
	鉄鋼材料	2				2		
	非鉄金属材料	1				1		
	材料物理化学Ⅰ	1				1		
	材料プロセス工学	1					1	
	材料環境科学	1					1	
	材料機器分析	1					1	
	生産工学	1					1	
	設計製図Ⅰ	2		2				
	設計製図Ⅱ	2			2			
	設計製図Ⅲ	1					1	
ものづくり実習	2	2						
創造工学	2				2			
材料工学実験	13		3	4	4	2		
卒業研究	9					9		
小計	66	5	9	18	18	16		
選 択 必 修 科 目	材料の物 性	結晶解析学	1			1		2単位以上修得
		固体物性	1				1	
		半導体工学	1				1	
	材料の化 学	材料物理化学Ⅱ	1			1		2単位以上修得
		材料表面工学	1				1	
		電気化学	1				1	
	材料の組 織・強度	材料力学	1			1		2単位以上修得
		材料保証学	1				1	
		材料設計学	1				1	
	材料のプロ セス	接合工学	1			1		2単位以上修得
		鑄造工学	1				1	
		塑性加工	1				1	
各種の材 料	機能材料	1				1	2単位以上修得	
	複合材料	1				1		
	粉体材料	1				1		
小計	15	0	0	0	4	11		
選 択 科 目	応用数学Ⅱ	2					2	
	材料評価法	1			1			
	工業英語	1					1	
	コンピューター応用	1					1	
	電気工学基礎	1			1			
	基礎デジタル回路	1				1		
	機械工学基礎	1				1		
	基礎メカトロニクス	1					1	
	設計製図Ⅳ	1					1	
	創造工学演習	5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ	2				1	1	
小計	17	1	1	3	4	8		
専門科目開設単位数	98	6	10	21	26	35		
一般科目開設単位数	87	30	26	15	12	4		
開設総単位数合計	185	36	36	36	38	39		
修得単位数	167 以上	132以上 167以上(専門科目82以上)						

6. 卒業後の進路



最近では卒業生約200名のうちおよそ100名が進学し、そのうち30名程度が本校の専攻科へ入学、残り約70名が大学への編入学を希望し、ほぼ全員が国立大学等の3年次へ編入学しています。また約100名の就職希望者に対して、過去3年間は一人あたり約20社からの採用申込み（求人）があり、その結果として希望者全員の就職が実現しています。

専攻科に入学した学生の修了後の進路は、大学院への進学及び就職となります。最近では推薦入学制度がかなり整備されてきており、大学院への進学希望者が増えています。また、就職する学生に対しては学科学生以上に高い求人倍率となっています。

このように、本校の卒業生や修了生の進路は多様であり、どの道を選択するかは入学後自由に決めることができます。

平成16～18年度卒業生 大学編入学・高専専攻科合格状況

大学・専攻科／年度	16	17	18	3年間計	大学・専攻科／年度	16	17	18	3年間計
鈴鹿高専専攻科	42	39	39	120	信州大学(工)	1			1
鳥羽商船専攻科	1	1		2	信州大学(農)			2	2
三重大学(工)	8	18	17	43	信州大学(理)			1	1
三重大学(生物資源)	1			1	信州大学(繊維)	2	4		6
名古屋大学(工)	1	4	3	8	富山大学(工)			2	2
名古屋大学(情報文化)	2	1		3	京都大学(工)	1	2	2	5
名古屋工業大学(工)	3	8	5	16	京都工芸繊維大学		1	1	2
豊橋技術科学大学	10	17	21	48	大阪大学(基礎工)	2	3	2	7
岐阜大学(工)	11	10	11	32	神戸大学(理)	1	2		3
岐阜大学(農)	1			1	神戸大学(工)		1		1
岐阜大学(応用生物)		2	1	3	奈良女子大学(理)	4	4	2	10
静岡大学(工)			2	2	島根大学(生物資源)	1			1
北海道大学(工)		1		1	岡山大学(理)	2	1		3
東北大学(工)		2		2	岡山大学(工)	2	2	1	5
山形大学(工)		1		1	岡山大学(環境理工)	1			1
筑波大学(第三学群)	2	5	1	8	広島大学(教)			1	1
千葉大学(工)			2	2	広島大学(工)	4	1		5
群馬大学(工)		1		1	広島大学(理)	1			1
東京大学(工)		1	1	2	山口大学(工)			1	1
東京農工大学(工)	2	1	4	7	九州工業大学(情報工)	1			1
東京工業大学(工)	1	1		2	琉球大学(工)	1			1
東京工業大学(生命理工)	2		1	3	静岡県立大学(食品栄養科学)			1	1
電気通信大学	1	1		2	大阪市立大学(理)	1			1
横浜国立大学(工)		1		1	大阪府立大学(工)	3	1		4
新潟大学(工)	1	2	1	4	広島市立大学(情報)		1		1
長岡技術科学大学	1	1	5	7	立命館大学(理工)		2	3	5
金沢大学(工)		1		1	豊田工業大学		1	1	2
福井大学(工)		3	1	4	創価大学		1		1
山梨大学(工)		2	1	3	合計(延べ人数)	118	151	136	405

平成16～18年度卒業生就職先一覧

IMGジャパン(株)	資生堂ホネケーキ工業(株)	(株)東芝セミコンダクター社	豊栄工業(株)
アイシン精機(株)	シャープ(株)	東邦チタニウム(株)	宝永プラスチック(株)
(株)アイズ	(株)ジャパンアウトソーシング	東洋インキ製造(株)	本田技研工業(株)
旭化成(株)	(株)JAL航空機整備成田	東レ(株)	マイルストーン(株)
旭化成ケミカルズ(株)	(株)勝喜テクノス	トータスエンジニアリング(株)	(株)マックスシステムズ
旭化成ライフ&リビング(株)	神鋼電機(株)	(株)トーマコーポレーション	松下電工(株)
旭電器工業(株)	新日本石油(株)	トステム(株)	マルホ(株)
(株)ADEKA	(株)スギ薬局	凸版印刷(株)	三重金属工業(株)
(株)アパハウスインターナショナル	住鋳潤滑材(株)	(株)トピア	(株)三鈴テクニクス
(株)アルバック	住電エレクトロニクス(株)	豊田合成(株)	水谷建設(株)
(株)イーテック	住友電装(株)	トヨタ自動車(株)	(株)三菱化学
出光興産(株)	(株)ゼオ	トヨタ車体(株)	(株)三菱化学エンジニアリング
(株)INAX	セコム(株)	(株)豊田中央研究所	三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所
ウッドランド(株)	総合警備保障(株)	(株)トヨタテクノサービス	三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所
(株)エクセディ	ソニー(株)厚木テクノロジーセンター	トヨタテクニカルデバイス(株)	三菱電機ビルテクノサービス(株)
NEケムキャット(株)	ソニーイーエムシーエス(株)一宮テック	トライス(株)	(株)ミルボン
NDSインフォス(株)	ソニーイーエムシーエス(株)幸田テック	(株)永井商会	美和ロック(株)
(株)NTTデータ	ソニーイーエムシーエス(株)長野テック	(株)中川製作所	村田機械(株)
(株)NTTドコモ東海	ソニーイーエムシーエス(株)浜松テック	西日本旅客鉄道(株)	明治乳業(株)
MHIエアロスペースシステムズ(株)	ソニーイーエムシーエス(株)美濃加茂テック	西日本電信電話(株)	(株)明菱
王子製紙(株)春日井工場	ソニー(株)MSNC	(株)日産テクノ	(株)森精機製作所
オリンパス(株)	第一工業製薬(株)	日清紡績(株)	モリテックスチール(株)
オリンパスメディカルシステムズ(株)	ダイキン工業(株)	日東電工(株)	森永乳業(株)
オンキョーエレクトロニクス(株)	(株)大同キャスティングス	日本科学冶金(株)	矢崎総業(株)
花王(株)	(株)大都技研	日本貨物鉄道(株)	八千代工業(株)
カネカ(株)	大日本インキ化学工業(株)	日本システム開発(株)	(株)ユーエルエーパックス
カネソウ(株)	(株)ダイヤ分析センター	日本車輛製造(株)	雪印乳業(株)
カヤバ工業(株)	太陽化学(株)	日本新聞インキ(株)	ユニチカ(株)
河村産業(株)	(株)高田工業所	日本精工(株)	ユニチカガラスファイバー(株)
関西ペイント(株)	(株)タマディック	日本たばこ産業(株)東海工場	陸上自衛隊
京セラ(株)三重伊勢工場	中京油脂(株)	日本電産(株)	理研産業(株)
協和発酵ケミカル(株)	中部工業(株)	日本電話施設(株)	リコーテクノシステムズ(株)
(株)キヨリックス三重	中部国際空港施設サービス(株)	日本ペイント(株)	ロート製薬(株)
クノール食品(株)	(財)中部電気保安協会	日本ミルクコミュニティ(株)	(株)ロンビック
グンゼ(株)	中部電力(株)	ネクストウェア(株)	和光純薬工業(株)
(株)ケーブルネット鈴鹿	中部東芝エンジニアリング(株)	ハイオアディスプレイ(株)	三重県職員
国分プレス工業(株)	(株)中部プラントサービス	パナソニックエレクトロニクスデバイス(株)	
(独)国立印刷局	津マリンデザイン(株)	(株)バンテクノ	
(株)サイタスマネージメント	DSソフトウェア(株)	(株)半導体エネルギー研究所	
SUNX(株)	(株)ティ・エス・シー	日立化成工業(株)	
三恵技研工業(株)	デンソークリエイイト(株)	(株)日立製作所	
サンテクノ(株)	デンソーテクノ(株)	フードテクノエンジニアリング(株)	
サントリー(株)	(株)東海精機	(株)不二越	
三友工業(株)	(株)東海テクノ	富士重工業(株)	
(株)シークス	(株)東海理化電機製作所	富士通(株)	
(株)シー・ティー・ワイ	東海旅客鉄道(株)	富士電機機器制御(株)	
JSR(株)	(株)東芝	富士電機システムズ(株)	
(株)JSP	東芝エレベータ(株)	(株)フジボウアパレル	
JFEスチール(株)	東芝産業機器製造(株)	ブラザー工業(株)	
塩野義製薬(株)	東芝シュネデルインバータ(株)	ベスポ(有)	

※ 平成18年度の求人状況は就職希望者114人に対し2,341件、求人倍率約20倍で、希望者全員が就職しています。

7. 学生支援制度等

(1) 課外・クラブ活動

学生自身が運営する「学生会」のもとに、18の体育系クラブと11の文科系クラブ、18の同好会があり、若者のやりたいことのほとんどすべてが揃っているという感じ です。毎年7月には全国大会へとつながる東海地区高専体育大会が開催され、平成18年度には52種目中14種目で鈴鹿高専が優勝を果たしています。また、ソーラーカーレース、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、エコランレースへの参加など理工系の学校らしい活動もできます。どんなクラブがあるか等、詳細は本校ホームページ <http://www.suzuka-ct.ac.jp/studentlife/club/> をご覧ください。

(2) 学寮

学校敷地内に、学生のための寮である「青峰寮」（低学年男子寮、高学年男子寮、女子寮、留学生・専攻科生寮）があり、希望する学生はほぼ入寮することが出来ます。寮は自宅が遠い、勉強やクラブ活動に励みたい、社会性を身につけたいなど様々な理由をもつ学生の支援制度として大切な役割を果たしています。現在約400名（うち女子学生80余名）の学生が、規則正しい共同生活を行いながら、多くの学生が勉強や課外活動に励み、また寮祭などの行事を楽しみ、一生つき合える友人を得て、社会へ出ていきます。

(3) 学生支援室

学内の教職員（看護師も含む。）で組織されている学生相談員のほかに、学外からの専門のカウンセラーが協力して、学生の健康・学習・進路・クラブ活動などに関すること、交友関係・異性問題・家庭問題・情緒・性格など学生の悩みごと全般に気楽に相談できる場が設けられています。

(4) 奨学制度

平成16年4月に設立された独立行政法人 日本学生支援機構（旧 日本育英会）の規定に基づき学業・人物ともに優れ健康な者で、経済的理由により著しく修学困難な者には、本人の申請に基づき選考のうえ奨学金が貸与されます。

参考 平成19年度現在の貸与月額、次のとおりです。

区 分		4・5学年
第 一 種 無利子	自宅通学	44,000円
	自宅外通学（寮生含む）	50,000円
第 二 種（きぼう21プラン）有利子		30,000～100,000円選択

(5) 入学料・授業料免除制度

・入学料免除

学資を主として負担している者が入学前1年以内に死亡し、または風水害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

・授業料免除

経済的事由により授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予することがあります。

8. 入学時に必要な経費（予定額）

学校納入金

項目	金額（円）	備 考
入学料	84,600	
授業料	117,300	年額234,600円の前期分 後期分は10月に納入 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
合 計	201,900	

入学時に必要なその他の経費

項目	金額（円）	備 考
学生会費	10,200	入会金及び1年分会費
教育後援会費	22,600	入会金及び前期分会費
傷害共済会費	500	1年分
日本スポーツ振興センター会費	1,520	1年分
合 計	34,820	

* 上記の他に、諸経費積立金27,000円（前期分）及び教科書教材費等約40,000円（学科によって異なります。）が必要です。

入寮生経費

項目	金額（円）	備 考
寄宿料	4,800	月額800円の前期6ヶ月分 後期分は10月に納入
入寮費	4,000	入寮時のみ納入（布団カバーの購入経費）
学寮生活費	32,050	年額64,100円の前期分 後期分は10月に納入 私生活のために使用する光熱水費、消耗品費等
合 計	40,850	

*別途食費 月平均約20,000円が必要です。

募 集 要 項

1. 募集人員

学科別の募集人員は、下記のとおりです。

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 電 子 工 学 科	若 干 名	
電 子 情 報 工 学 科	若 干 名	
生 物 応 用 化 学 科	若 干 名	
材 料 工 学 科	若 干 名	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校を平成20年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校を卒業した者
- (3) 大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験に合格した者、平成20年3月までに高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者で、平成20年3月31日までに18才に達する者

3. 入学願書受付

期 間	平成19年7月30日（月）から8月2日（木）まで。 郵送の場合も8月2日（木）までに必着とします。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

4. 出願手続

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）

振込期間は平成19年7月23日（月）～8月2日（木）です。

振込後、下記の出願書類を願書受付期間中に持参または郵送してください。郵送の場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送付してください。

出願書類	摘 要
編入学願書	本校所定の用紙に必要な事項を記入したもの。
受験票 写真票	写真票に貼る写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景のもの。(縦4cm×横3cm) 写真票に銀行の収納印のないものは無効です。
証 明 書	高等学校を卒業した者または高等学校を卒業見込みの者 ① 成績証明書 在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの。 ② 卒業証明書または卒業見込証明書 在籍(出身)学校長が作成したもの。
	大学入学資格検定合格者または高等学校卒業程度認定試験合格者、見込みの者 ① 大学入学資格検定合格者は合格成績証明書 ② 高等学校での在学期間がある場合は、その在学期間中の成績証明書 出身(在籍)学校長が作成し、厳封したもの。
返信用封筒 (直接持参する場合は不要)	添付の封筒に本人の住所・氏名および郵便番号を明記し、560円(速達、配達記録郵便料を含む。)切手を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受ける住所・氏名・郵便番号を記入すること。

※平成19年度に高等学校卒業程度認定試験を受験する者は、事前に申し出てください。

5. 選抜の方法

入学者の選抜は、筆記試験(英語、数学、学科個別科目)及び面接試験の結果を総合して行います。筆記試験では英語および数学を各100点満点、ならびに学科個別科目を200点満点で評価します。面接試験では意欲、適性を100点満点で評価し、筆記試験との合計500点満点で評価します。

(1) 学力検査

学力検査は筆記試験とし、共通科目と学科個別科目について行います。出題する科目及びその範囲は次のとおりです。

共通科目

検査科目	検査時間	出題範囲
英 語	60分	英語Ⅰ, 英語Ⅱ
数 学	60分	数学Ⅰ, 数学Ⅱ

学 科 個 別 科 目

学 科	検査希 望番号	検査 時間	検 査 教科・科目	出 題 範 囲
機 械 工 学 科	1	120分	工業・機械設計	1. 機械に働く力と仕事 2. 材料の強さ 3. ねじ 4. 軸とその部品 5. 歯車
	2	120分	理 科・物 理	物理 I 物理 II 1. 力と運動 2. 電気と磁気
			理 科・化 学	化学 I 化学 II 1. 物質の構造 2. 化学平衡
電 気 電 子 工 学 科	1	120分	工業・電気基礎	1. 直流回路 2. 電気と磁気 3. 静電気 4. 交流回路 5. 電気計測
			工業・電子回路	1. 電子回路素子 2. 増幅回路の基礎 3. いろいろな増幅回路（負帰還増幅回路、エミッタホロワ増幅器回路） 4. 電力増幅回路
	2	120分	理 科・物 理	物理 I 物理 II 1. 力と運動 2. 電気と磁気
			理 科・化 学	化学 I 化学 II 1. 物質の構造 2. 化学平衡
電 子 情 報 工 学 科	1	120分	工業・電気基礎	1. 直流回路 2. 磁気と静電気 3. 交流回路 4. 電気計測
			工業・情報技術 基礎	1. 産業社会と情報技術 2. ソフトウェア 3. プログラミング 4. ハードウェア
	2	120分	理 科・物 理	物理 I 物理 II 1. 力と運動 2. 電気と磁気
理 科・化 学			化学 I 化学 II 1. 物質の構造 2. 化学平衡	
生 物 応 用 化 学 科	1	120分	工業・工業化学	1. 地球と化学 2. 水と化学 3. エネルギーと化学変化 4. 石油と化学 5. 材料と化学 6. 生活と化学工業製品
			工業・化学工学	1. 化学工場と化学プラント 2. 物質とエネルギーの収支 3. 単位操作
	2	120分	理 科・物 理	物理 I 物理 II 1. 力と運動 2. 電気と磁気
理 科・化 学			化学 I 化学 II 1. 物質の構造と化学平衡 2. 生活と物質 3. 生命と物質（注 2又は3のいずれかを選択）	

生物応用化学科は次頁へ続く

生物 応用 化学 科	3	120分	理 科・化 学	化学 I 化学 II 1. 物質の構造と化学平衡 2. 生活と物質 3. 生命と物質 (注 2又は3のいずれかを選択)
			理 科・生 物	生物 I 生物 II 1. 生物現象と物質 2. 生物の分類と進化 3. 生物の集団 (注 2又は3のいずれかを選択)
材 料	1	120分	工業・機械工作	1. 機械材料 2. 鋳造 3. 塑性加工 4. 溶接
			理 科・物 理	物理 I 物理 II 1. 力と運動 2. 電気と磁気
工 学	2	120分	工業・機械工作	1. 機械材料 2. 鋳造 3. 塑性加工 4. 溶接
			理 科・化 学	化学 I 化学 II 1. 物質の構造 2. 化学平衡
科	3	120分	理 科・物 理	物理 I 物理 II 1. 力と運動 2. 電気と磁気
			理 科・化 学	化学 I 化学 II 1. 物質の構造 2. 化学平衡

※ 学科個別科目は、選択となっているので入学願書に検査を希望する科目の番号を○で囲むこと。機械工学科・電気電子工学科及び電子情報工学科は、1・2の内いずれか1つ。生物応用化学科及び材料工学科は、1・2・3の内いずれか1つ。

(2) 面 接

受験者全員に面接を行います。

(3) 検査日時および場所

(イ) 検査日時

期 日	科 目 等	時 間
8月29日 (水)	英 語	9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0
	数 学	1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 5 0
	学科個別 科 目	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
	面 接	1 5 : 2 0 ~

(ロ) 検査場所 鈴鹿工業高等専門学校

6. 合格者の発表

平成19年9月4日（火）午前10時

本校内に合格者の受験番号を掲示します。なお、合格者あてに合格通知書を発送します。
（平成19年9月4日（火）午前10時以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。ホームページアドレス <http://www.suzuka-ct.ac.jp>）
電話による合否の問い合わせはご遠慮願います。

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた方は、平成19年9月28日（金）午後5時までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない方は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

8. 入学手続

合格者あて別途通知します。

9. 出願上の注意事項

- (1) 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付または郵送します。この受験票は、検査当日必ず持参してください。
- (2) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更、書類および検定料の返還は理由を問わず認めません。
- (3) 出願資格が、高等学校卒業見込み及び高等学校卒業程度認定試験合格見込みである者については、平成20年3月25日までに卒業又は合格できなかった場合は本校に入学することはできません。
- (4) 提出書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (5) 身体に障害を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち本校学生課入試係まで申し出てください。

10. 個人情報の取扱いについて

本校では、入学志願者から提出された入学願書や証明書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

入学試験に関する問い合わせ，出願書類の請求先

国立鈴鹿工業高等専門学校

学 生 課 入 試 係

TEL 059-368-1739

368-1731

FAX 368-1738

ホームページアドレス

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町